

# 決算説明資料

## 2025年4月期 1Q

株式会社ザッパラス

<https://www.zappallas.com/>

東証スタンダード市場：3770



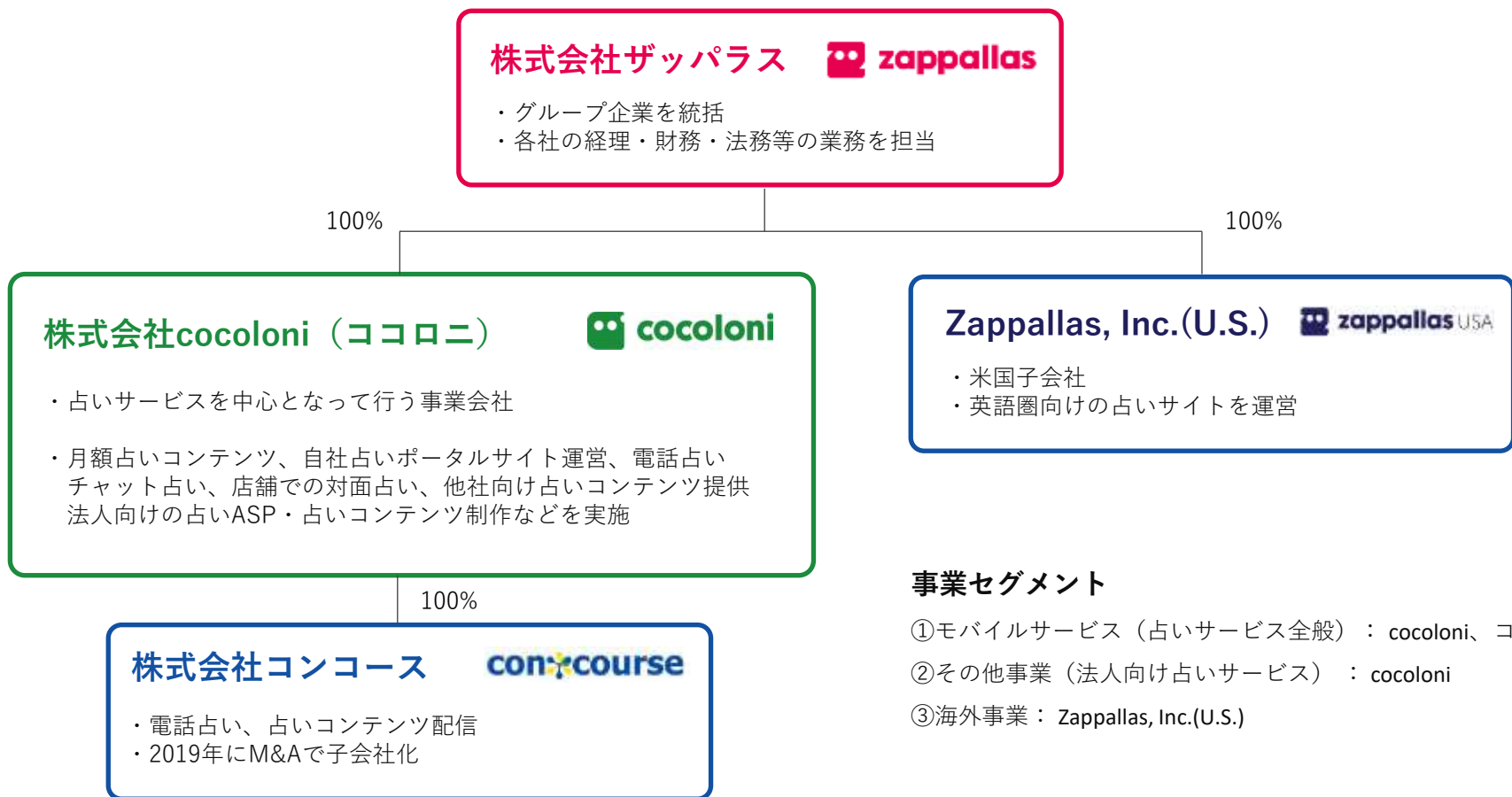
# 1. 当社について

---



# 01 当社グループ

デジタルコンテンツを中心に、電話・チャット・店舗・法人向けなど  
多様な占いサービスを提供



## 事業セグメント

- ①モバイルサービス（占いサービス全般）： cocoloni、コンコース
- ②その他事業（法人向け占いサービス）： cocoloni
- ③海外事業： Zappallas, Inc.(U.S.)

## 02 モバイルサービス事業セグメント（占いサービス）

25/4期 1Q実績：セグメント売上高924百万円、営業利益180百万円

（ご参考）前期 24/4期 通期実績：セグメント売上高3,854百万円、営業利益692百万円

### 月額占いサイト



- ・人気占い師が監修する占いコンテンツを多数提供
- ・携帯キャリア課金による月額396円(税込)の料金体系が中心

#### ■サイト例

- ・ [星ひとみ 幸せの天星術](#)
- ・ [琉球風水志シウマ 1分間運数意学](#)
- ・ [365誕生日大占術](#)

### 占いポータル



- ・様々な占いコンテンツを楽しめるポータルサイト「cocoloni占い館」を運営
- ・ライトな占いファン向けの「[Sun](#)」コアな占いファン向けの「[Moon](#)」2段構成で様々な層の支持を獲得

### オンライン占い (電話・チャット)



#### ■運営サービス

- ・ [ロバミミ](#)（電話）
- ・ [Chapli](#)（チャット）
- ・ [シェリール](#)（電話）

### リアル店舗



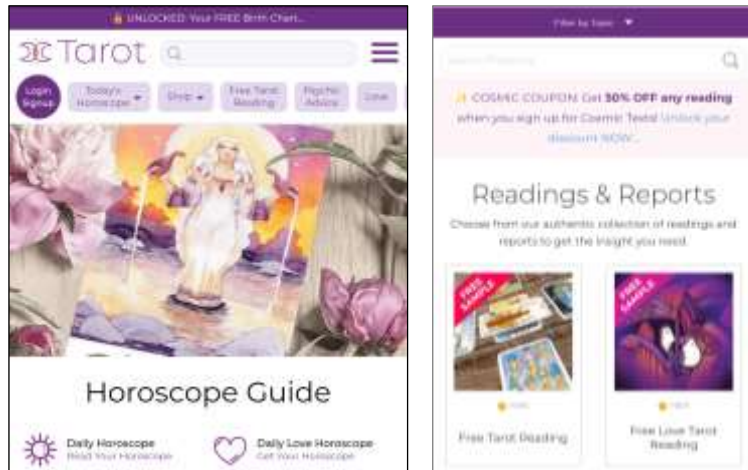
- ・占い師による対面鑑定を提供
- ・ [立川店](#)と [川越店](#)の2店舗

# 03 海外事業・その他事業セグメント

25/4期 1Q実績：  
セグメント売上高89百万円、営業利益11百万円

前期 24/4期 通期実績：セグメント売上高402百万円、営業利益▲48百万円

## 海外



- ・英語圏向け占いサイト [Tarot.com](https://www.tarot.com) が中心
- ・コンテンツ課金と広告収益の2本柱
- ・人員削減など体制整備を行い、**当第1四半期は黒字に転換**

25/4期 1Q実績：  
セグメント売上高27百万円、営業利益11百万円

前期 24/4期 通期実績：セグメント売上高116百万円、営業利益41百万円

## その他



大手百貨店Webメディアの  
占いコーナーを監修

気象情報アプリへ  
占いAPIをシステム提供

各種イベントへ  
占い師を派遣

- ・法人向けに各種の占い関連サービスを提供

## 占いデジタルコンテンツの絶え間ない強化

- ・人気コンテンツの維持
- ・新規コンテンツの継続的なリリース
- ・プロモーションの費用対効果の最適化

## オンライン占いとリアル店舗の育成・連携

- ・拡大傾向にあるオンライン占い市場のシェア開拓
- ・オンライン占いとリアル店舗は顧客獲得においてシナジーがあるため相互連携を推進
- ・リアル店舗の多店舗化に向けた運営モデル確立
- ・電話・チャット・店舗で活躍する占い師の採用強化

## 事業提携・M&A・海外展開・財務戦略

- ・占いサービスを活用・PRできる事業提携を、業種限らず積極的に模索
- ・大株主の光通信グループとの業務提携も視野に
- ・占い事業への統合や強化に繋がる企業・サービスのM&Aを積極的に検討
- ・海外での事業展開に関する情報収集も継続的に実施
- ・強固な財務基盤（自己資本比率92.3%）を強みに、投資運用や株主還元を機動的に検討

## AIの活用

- ・AI技術の発展により、長いコンテキストの投入が可能となり、その精度も飛躍的に高まり続けている
- ・AIの活用は必須と捉え、研究開発を実施中
- ・各サービスの課題を解決・補完するものとしてAIを活用

## II. 概況

---



## 新体制2期目がスタート、収益を確保しつつ株主還元を実施

- 経営合理化を経て、利益体質へ変化。当第1四半期は売上高1,041百万円、営業利益114百万円  
(※前年同四半期は売上高1,069百万円、営業利益26百万円)
- 米国子会社が四半期で黒字に転換。人員最適化等の効果が発現
- 株主還元を目的とし、自己株式の取得を実施（次ページで補足）
- 2024年7月の株主総会にて永井裕恭（光通信 財務部）が新たに取締役就任。数値管理や投資運用を担当
- 現預金の一部を、財務体質や事業基盤の安定している上場企業の株式などに振り向け、長期目線での投資運用を開始
- 2024年5月、埼玉県川越市に「cocoloni占い館」の第2号店がオープン  
(※占いプラットフォーム、リアル店舗ともに「cocoloni占い館」の名称を使用)

2024年7月26日(金)開催の第25回定時株主総会の終了後に、代表取締役の溝上雅俊による事業説明会を実施いたしました。その模様をYouTubeにて配信しております。是非ご覧ください。

動画URL：[https://youtu.be/vy1wp9Em\\_d0](https://youtu.be/vy1wp9Em_d0)



## 06 自己株式の取得

- 資本効率の向上及び株主還元の一環として、上限50百万円の自己株式の取得を発表
- なお当社は2024年3月から7月にかけて自己株式の取得を実施し、約70百万円を市場買付にて取得  
今回の自己株式の取得は本年2回目

### (ご参考) 2024年9月13日開示のリリースより抜粋

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得しうる株式の総数	100,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合0.84%）
株式の取得価額の総額	50,000,000円（上限）
取得期間	2024年9月17日～2024年11月29日
取得方法	東京証券取引所における市場買付

# III. 決算概要

---

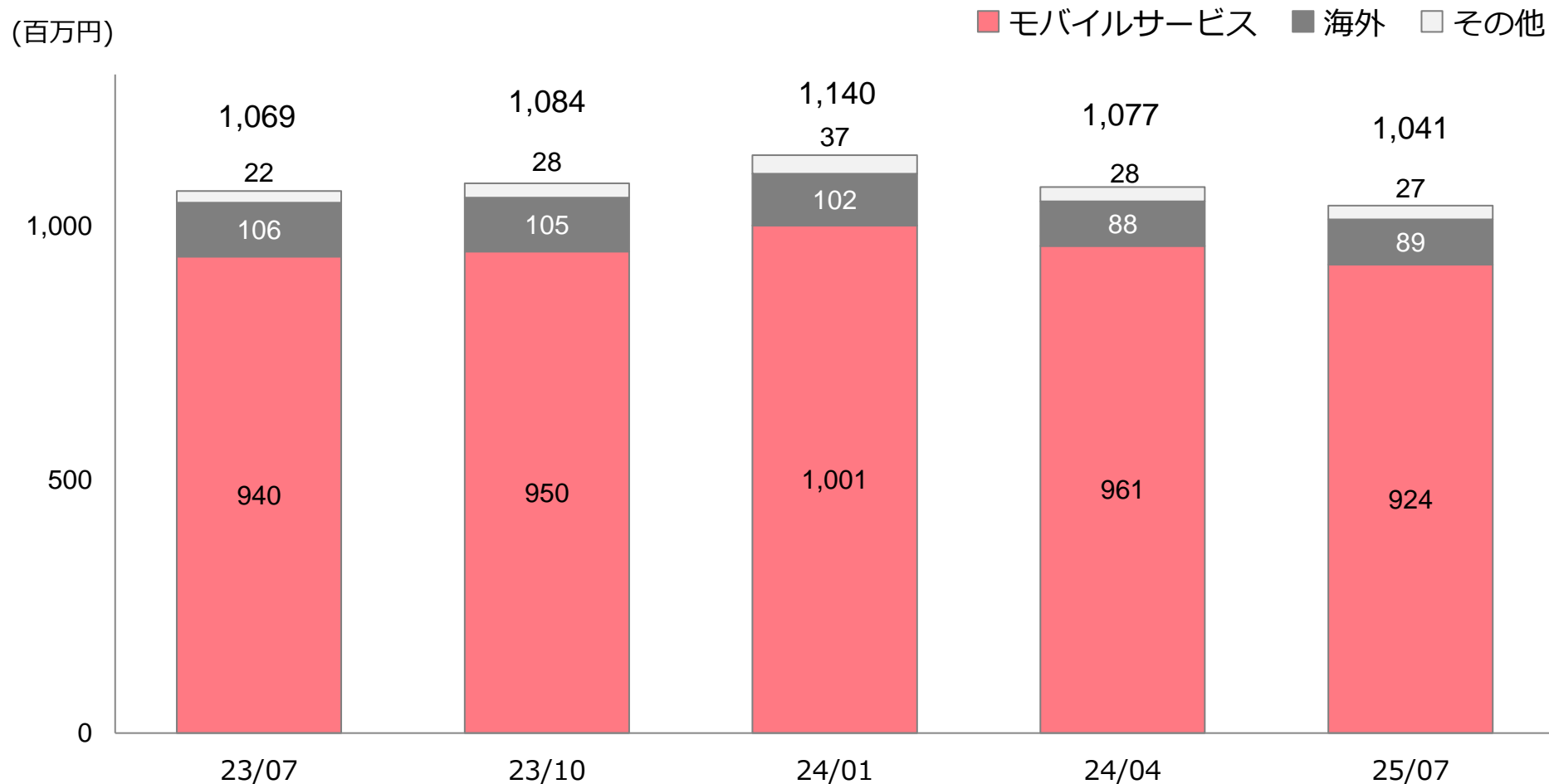


## 07 連結P/Lサマリー（前年同期比）

(単位：百万円)	2024年4月期 第1四半期		2025年4月期 第1四半期		増減率
	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	1,069	100.0%	1,041	100.0%	-2.7%
売上総利益	768	71.8%	734	70.5%	-4.4%
販売費及び一般管理費	741	69.3%	620	59.6%	-16.4%
営業利益	26	2.4%	114	11.0%	334.4%
経常利益	41	3.8%	91	8.7%	123.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	-60	-5.6%	63	6.1%	-

- 売上高は安定して推移。コスト削減で販管費が抑制され営業利益は大幅増加
- 営業外損益において、前期1Qは24百万円の為替差益を計上。今期1Qは26百万円の為替差損を計上
- 前期1Qは株主総会関連損失79百万円を特別損失に計上。一過性の特殊要因のため今期1Qは発生せず  
四半期対比では当期純利益が黒字となった

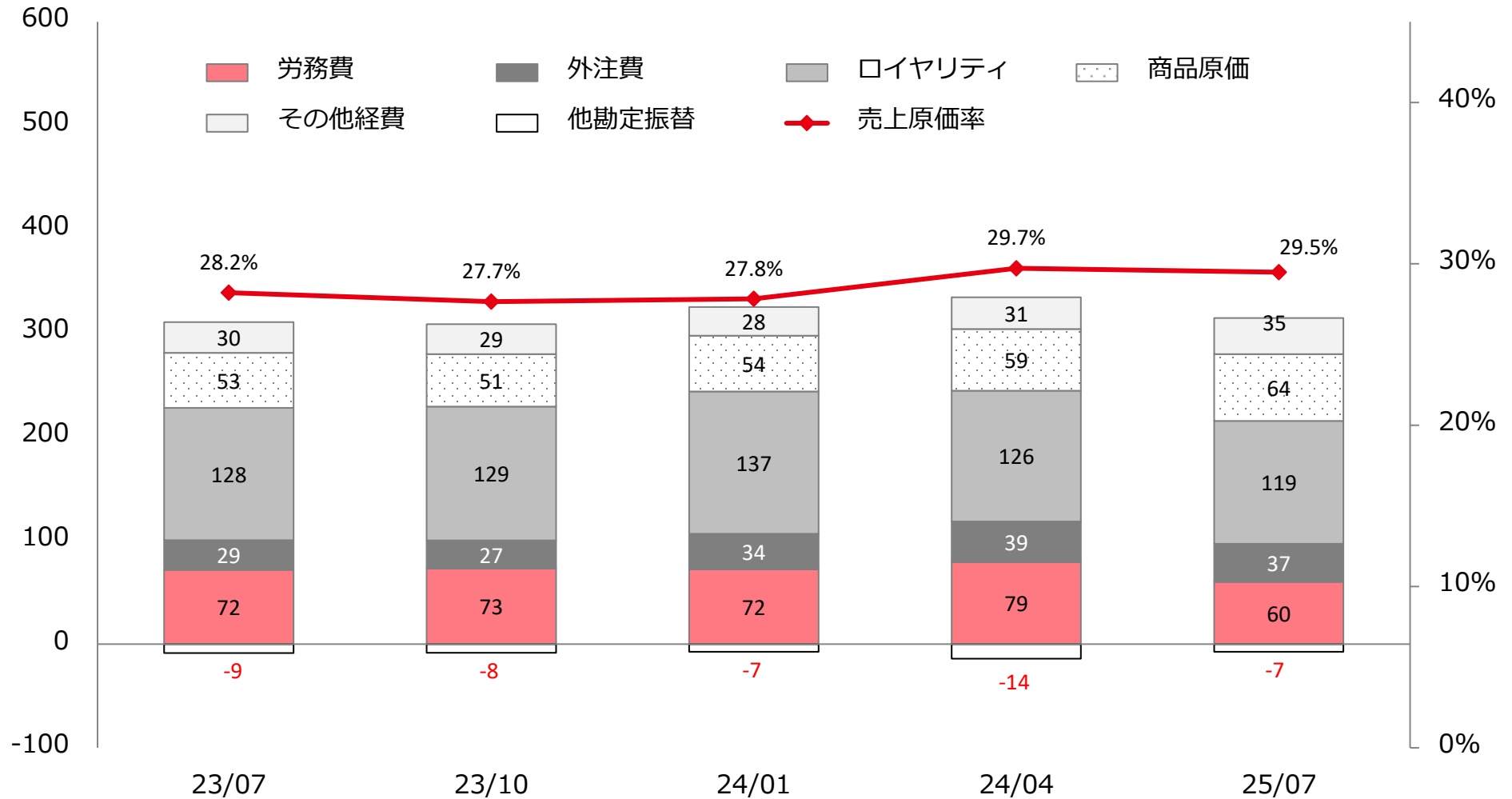
## 08 連結売上高の四半期推移



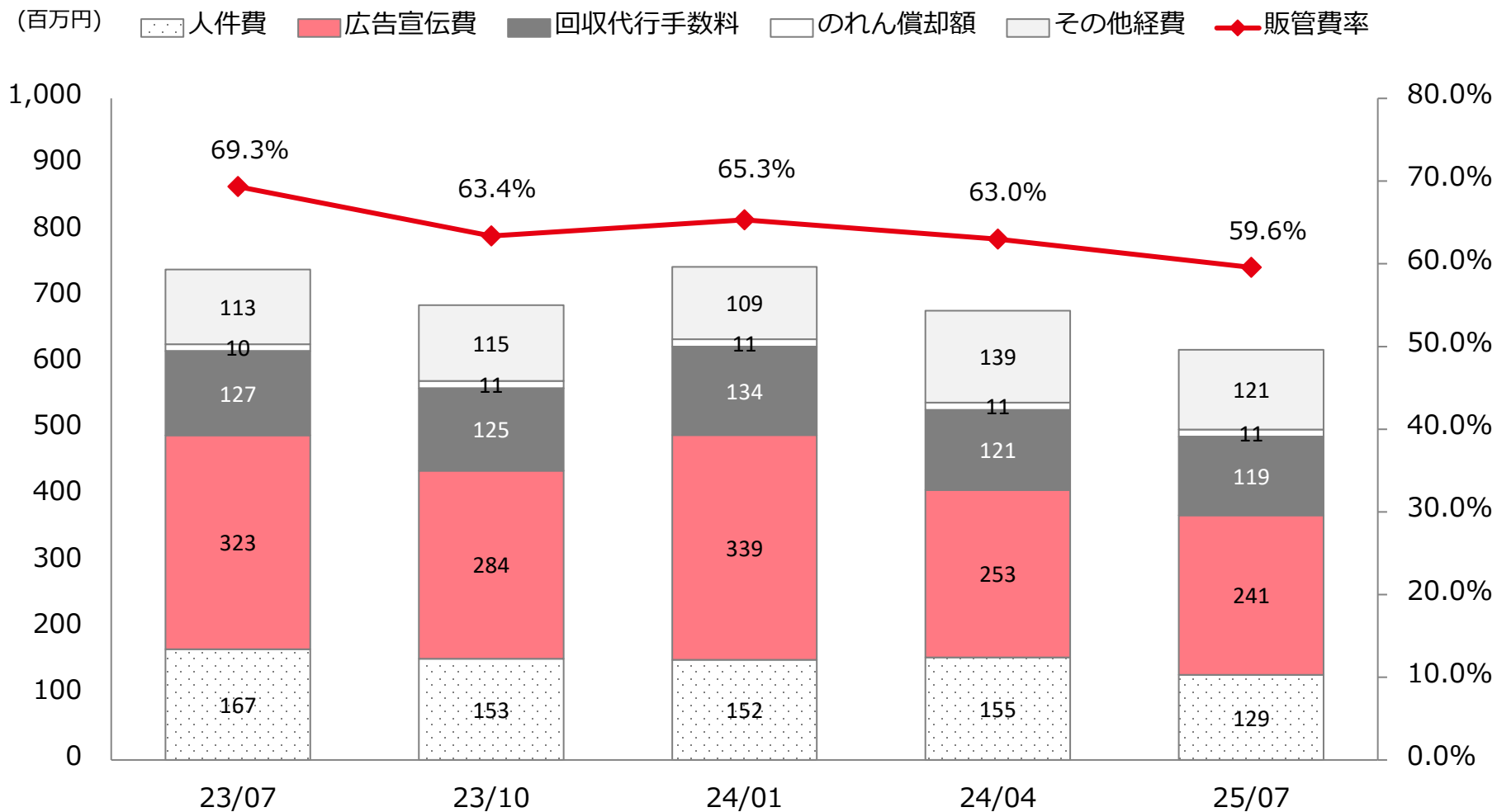
(\*) : セグメント間取引が発生しておりますが、金額が軽微のため上記グラフには調整額を含めておりません。

# 09 連結売上原価の四半期推移

(百万円)

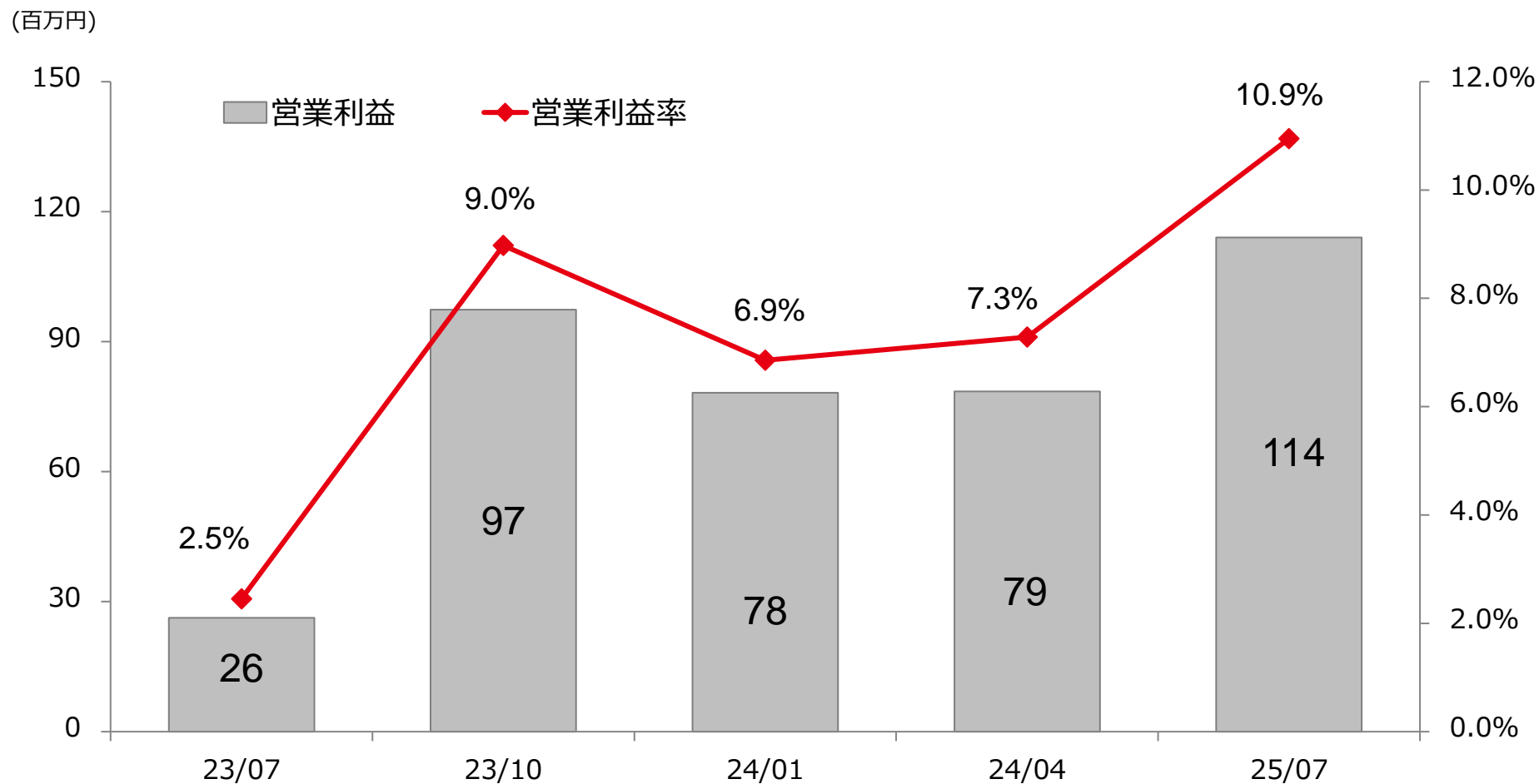


# 10 連結販管費の四半期推移



# 11 連結営業利益の四半期推移

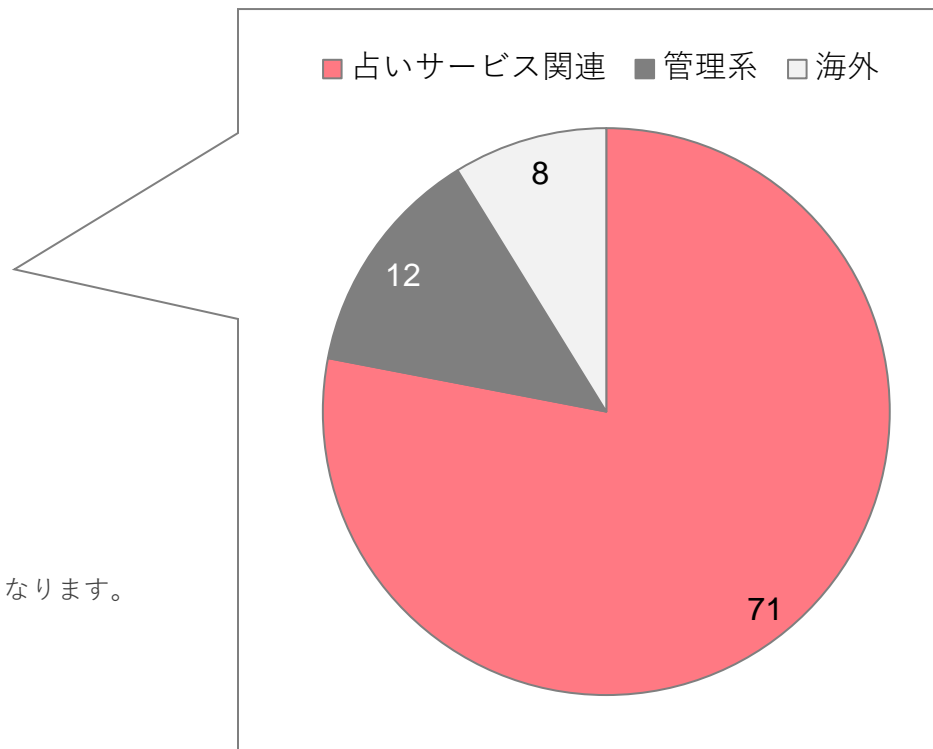
経営合理化を経て、大幅に損益改善し、利益体質を継続



# 12 人員構成

	24年4月	24年7月
占いサービス関連	73	71
管理系	12	12
海外	8	8
計	93	91

※：上記は正社員及び契約社員の人数です。  
準社員（パート・アルバイト）や休職者等は含んでおりません。  
P23「17 会社概要」の従業員数は準社員等を含み調整した数値となります。





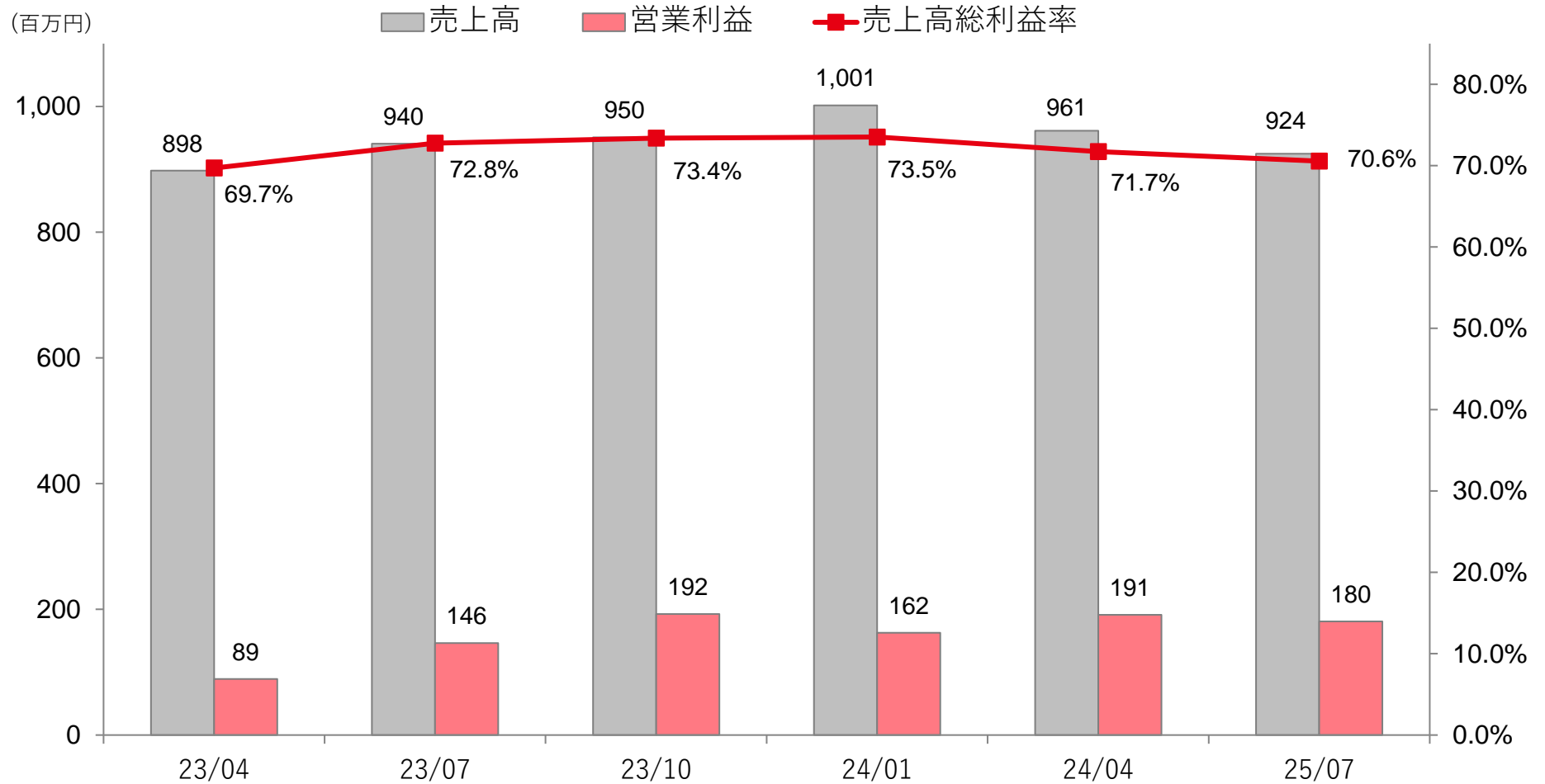
## IV. モバイルサービス事業の状況

---



# 13 モバイルサービス事業：四半期推移

安定した収益力で推移



# 14 モバイルサービス事業：前年同期比

(単位：百万円)		2024年4月期 第1四半期	対売上 比率	2025年4月期 第1四半期	対売上 比率
売上高		940	100.0%	924	100.0%
原 価	労務費	49	5.2%	46	5.0%
	ロイヤリティ	123	13.1%	114	12.3%
	外注費	18	1.9%	24	2.6%
	その他	65	6.9%	85	9.2%
販 管 費	人件費	55	5.9%	59	6.4%
	広告宣伝費	313	33.3%	240	26.0%
	回収代行手数料	130	13.8%	122	13.2%
	その他	37	3.9%	48	5.2%
営業利益		146	15.5%	180	19.5%

※費用については連結相殺前の数値で比較しております。

# V. 參考資料

---



# 15 連結B/Sサマリー

## <資産の部>

(単位：百万円)	2024年4月期 期末①	2025年4月期 1Q②	増減額 (②-①)
	(2024年4月末)	(2024年7月末)	
現金及び預金	4,901	3,524	-1,376
売掛金	476	459	-16
有価証券	0	200	200
未収還付法人税等	49	49	0
その他	130	116	-13
<b>流動資産合計</b>	<b>5,509</b>	<b>4,350</b>	<b>-1,159</b>
有形固定資産合計	69	64	-5
ソフトウェア	43	39	-3
のれん	25	21	-4
その他	5	5	0
<b>無形固定資産合計</b>	<b>74</b>	<b>66</b>	<b>-7</b>
投資有価証券	424	1,352	927
その他	123	306	182
投資その他の資産合計	548	1,659	1,110
<b>固定資産合計</b>	<b>692</b>	<b>1,790</b>	<b>1,097</b>
<b>資産合計</b>	<b>6,202</b>	<b>6,141</b>	<b>-61</b>

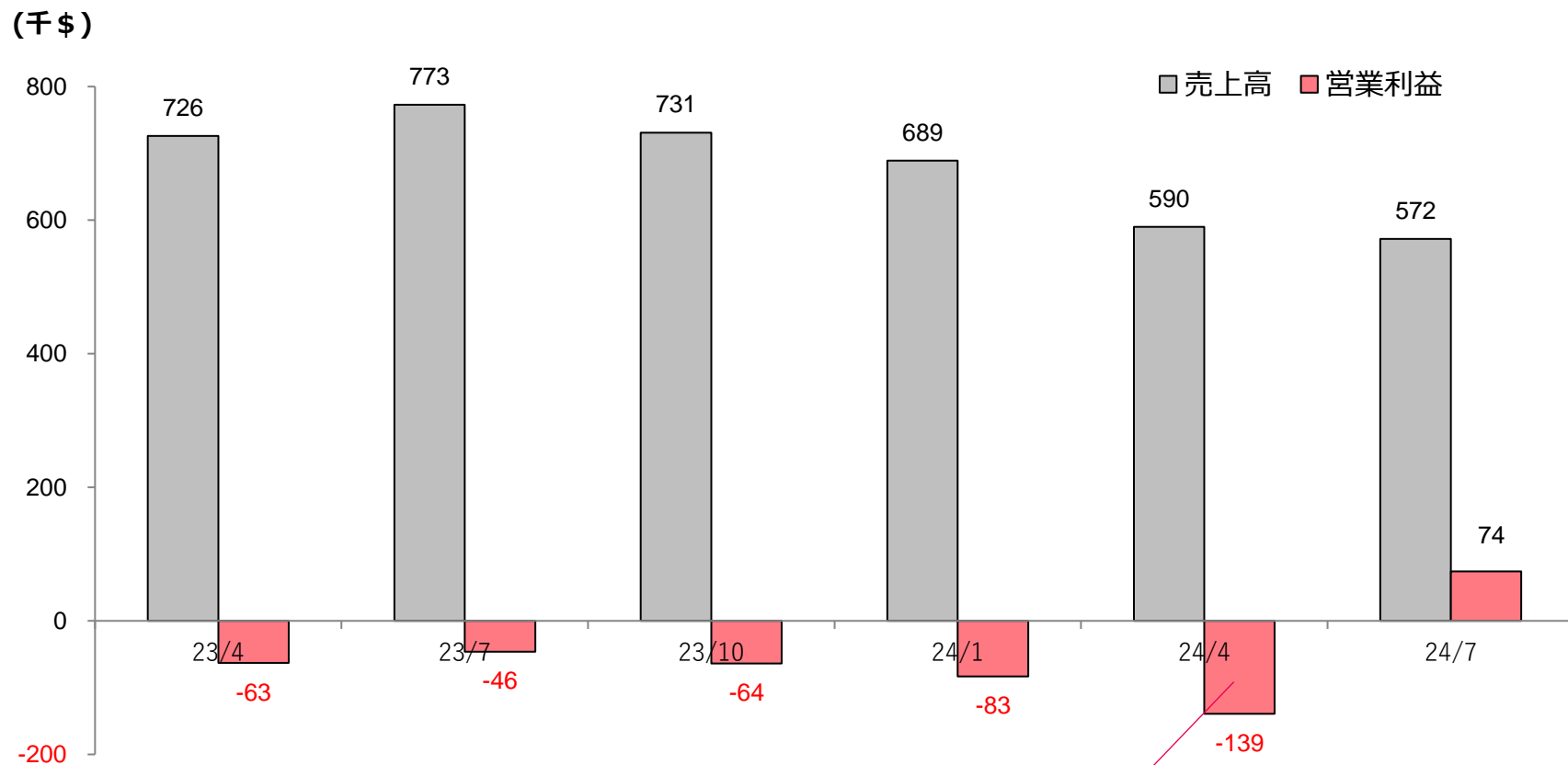
## <負債・純資産の部>

(単位：百万円)	2024年4月期 期末①	2025年4月期 1Q②	増減額 (②-①)
	(2024年4月末)	(2024年7月末)	
買掛金	154	149	-4
未払金	167	176	9
未払法人税等	87	19	-68
その他	107	111	3
<b>流動負債合計</b>	<b>516</b>	<b>457</b>	<b>-59</b>
<b>固定負債合計</b>	<b>1</b>	<b>13</b>	<b>5</b>
<b>負債合計</b>	<b>525</b>	<b>470</b>	<b>-54</b>
株主資本合計	5,639	5,620	-19
その他包括利益累計額合計	37	49	12
<b>純資産合計</b>	<b>5,677</b>	<b>5,670</b>	<b>-6</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>6,202</b>	<b>6,141</b>	<b>-61</b>

- ・ 現預金の一部を、投資運用に振り向けたため、流動資産の有価証券および投資その他の資産の投資有価証券が増加
- ・ 財務体質や事業基盤の安定している上場企業の株式等へ分散投資し、長期目線での運用を行う

# 16 海外事業：四半期業績推移

人員最適化など構造改善により、四半期ベースでの黒字へ転換



※人員の最適化による  
事業構造改善費用が発生

(\*1) : 海外事業の売上高・営業利益につきましては、日本円換算前の連結相殺後の数値を用いております。

(\*2) : 2023年4月期までの営業利益は、のれん償却前の数値です。(のれん償却費 185K\$/Q)

# 17 会社概要

- ・ 社名 株式会社ザッパラス
- ・ 本社 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目51番7号  
PORTAL POINT HARAJUKU ANNEX 3 階
- ・ 設立 2000年3月
- ・ 資本金 14億7,634万円（2024年4月末時点）
- ・ 従業員数 連結98名（2024年4月末時点）
  
- ・ 取締役
  - 代表取締役 溝上 雅俊
  - 取締役 永井 裕恭
  - 取締役 小林 真人
  - 社外取締役（監査等委員） 市川 雅彦
  - 社外取締役（監査等委員） 柴田 亮
  - 社外取締役（監査等委員） 竹中 由重（弁護士）

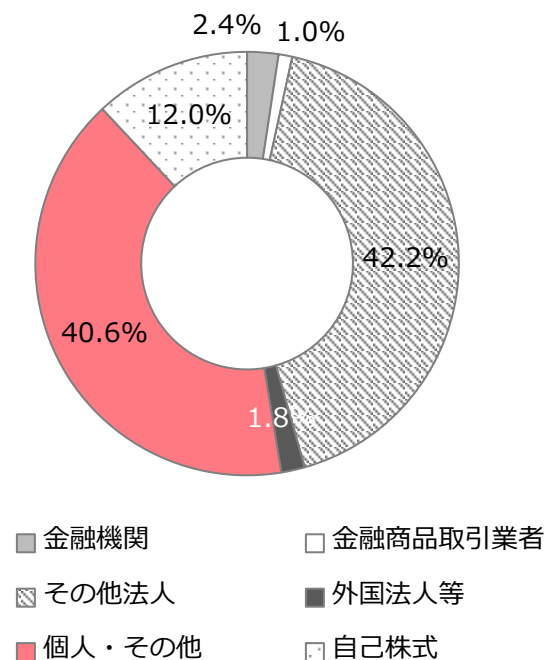
# 18 株主構成(2024年4月末現在)

- 発行済株式数：13,651,000株／株主数：3,349名

## ■大株主の状況

	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
川嶋 真理	2,912,000	21.33
光通信株式会社	1,729,300	12.66
株式会社ザッパラス(自己株式)	1,634,203	11.97
株式会社UH Partners 2	1,342,800	9.83
株式会社エスアイエル	1,281,000	9.38
株式会社UH Partners 3	1,281,000	9.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	257,400	1.88
個人株主	199,800	1.46
個人株主	139,200	1.01
Bank Julius Baer & Co. Ltd.	130,000	0.95

## ■所有者別分布 (所有株式割合)





## IRお問い合わせ先

管理グループ IR担当

MAIL : [ir@zappallas.com](mailto:ir@zappallas.com)